

としょかん 100周年 私と図書館 ～Vol.4～

2018年12月1日、鹿島市民図書館は100周年を迎えます。

図書館との思い出を募集中！
館内の応募箱またはメールにてご応募ください。

メールアドレス：kashimal@theia.ocn.ne.jp

いや驚きました。講師の方が図書館の司書になっておられました。私は平成18年4月より高齢者大学に入学いたしました。その時の講師の方が〇〇様でした。(16期生です。)私と本との出会いは、小学館の小学一年生から小学六年生まで、それから少年倶楽部、時代小説などで現在に至っております。戦時中は海軍の航空隊におりましたので、戦記物等も読んでおります。

(K様)

私が最初、図書館を利用したのは30代後半(昭和60年代)の頃。郷土誌を探していたら「ふるさと鹿島」という本を見つけ、カウンターで借入手続きをしている時、「この本は買えますか?」と尋ねたら、「ハイ、購入出来ます」といとも簡単に言われた。図書館の本は借りるものばかりと思っていたので私はビックリでした。ついでに「鹿島の方言」も尋ねると、これもOKだと。後で聞いたら鹿島市が発行した本は購入出来るとの事だった。方言の本を読んでいると小学生の頃(昭和30年代)、祖母が近所の婆ちゃん達と話していた言葉が鮮やかに思い出され懐かしくなった。鹿島市発行の本は、その後も数冊購入し私の郷土探究心は益々高まった。そして、もっと郷土の本を増やして欲しいと思う。

(P.N. 納富ふんたろう様)

☆ 基本的に原文のまま掲載していますが、個人名は伏せております。



- 今月のみんと
- 寄付金をいただきました!
 - 館長コラム
 - ごども1日図書館長募集
 - 子ども図書館サポーター募集
 - 100周年ロゴマーク
 - おはなし会変更のお知らせ
 - わらべうた講座 報告
 - 私と図書館 ～Vol.4～



Wonder Market様より



寄付金をいただきました。

Wonder Market様(藤貴仁代表)が、「子どもの読書活動に役立ててほしい」とイベント売上金の一部を図書館に寄付して下さいました。いただいたご寄付で、赤ちゃん連れの親子に大人気の「赤ちゃん絵本セット」や、児童向け図鑑を購入させていただきます。誠にありがとうございました。

開館カレンダー

■■■■お休み

おはなし会の時間や会場が変更になりました。ご確認の上ご来館ください。詳しくは2ページをご覧ください。

4月							5月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7			1	2	3	4	5
8	9	10	11	12	13	14	6	7	8	9	10	11	12
15	16	17	18	19	20	21	13	14	15	16	17	18	19
22	23	24	25	26	27	28	20	21	22	23	24	25	26
29	30						27	28	29	30	31		

● 開館時間 ●
平日：9時30分～19時
土日祝：9時30分～17時

● おはなし会 ●
会場：館内おはなしの部屋

- あんころもち(0～3才)
火曜 14時～
- おはなし会(3才～)
土曜 14時～

としょかん日記

さて、4月からいよいよ鹿島市民図書館100周年イベント、開始します！図書館職員一同、100周年記念バッジを装着してご来館をお待ちしています。ちなみに、色やデザインが何種類もありますので、よく見てみてくださいね☆100周年イベントのオープニングとなる4月29日の1日子ども図書館長体験、これはなかなか貴重な体験だと思いますので、たくさんの方々の応援をお願いします！！新1年生が頑張ります！

祝100周年！いろいろやりますので、お見逃しなく！！ (Y)



鹿島市民図書館
一般財団法人
鹿島市民立生涯学習・文化振興財団
佐賀県鹿島市大字納富分2700-1
鹿島市生涯学習センター エイブル
http://www.library.city.kashima.saga.jp
Tel (0954) 63-4343
Fax (0954) 63-2217
2018年3月25日発行



QRコード

「みんとのコラム」

図書館広報紙「みんと」のコラム執筆も今回で12回目を迎えました。今月は何を書こうか？と悩むのも毎月恒例の行事となり、返却された本や雑誌をパラパラと流し読みし面白いネタを探すこともしばしばです。スタッフに尋ねますと、歴代館長もみんとのネタ探しには苦労されていたとか。果たして歴代館長はどんな内容を書いていたのだろうか？と思い、過去のみんとを引っ張り出してきて読んでみました。

みんと創刊は2001年の10月で、コラム執筆は初代館長の辻村素彦先生。鹿島高校時代にお世話になった恩師の一人です。辻村先生のコラムで「みんと」の名前の由来を初めて知りました。2代目の武富守人館長の時代、人口3万人以上4万人未満の自治体にある公共図書館の中で鹿島市民図書館の貸出冊数が全国1位になったとの記事が載っていました。誠に輝かしい実績です。3代目の田中隆昭館長の時、図書館の周りにゴーヤを植える「グリーンカーテン計画」が始まったとの記述がありました。その後、この「グリーンカーテン計画」は初夏恒例の名物イベントとなりました。4代目の野崎千代美館長は、誰にも分かりやすい内容を優しく柔らかい文体で執筆されていました。その中で、鹿島に伝承する民話や偉人伝をもとに制作した大型紙芝居の記事が目にとまりました。「ひょんちょろりん」、「ちよづるひめ」、「高津原水道ものがたり」の3作は、現在、高齢者向けの介護施設などで大変好評です。

1月、この大型紙芝居の動画を図書館ホームページにアップしました(「お知らせ」の記事、あるいは上部メニュー「ふるさと鹿島」の中の「鹿島の話 紙芝居」からご覧下さい)。語りを稲葉ゆう子さん(賑わい商「はっぴい♥かむかむ」主宰)にお願いし、本格的な鹿島弁の動画に仕上がっています。鹿島を離れてご活躍の皆様にも是非ご覧頂き、ひとときでも故郷を思い出して頂ければと願っています。



図書館長 前田英明



『1日こども図書館長』募集！

記念すべき100周年に、鹿島市内の新小学1年生から『1日こども図書館長』を募集します。

応募期間：4月1日（日）～4月13日（金）
 対象：鹿島市内の小学校新1年生
 募集人数：2人
 活動日：4月29日（日）9時～11時
 内容：100周年記念イベントのお手伝い
 来館者のおてむかえ
 カウンターでの貸出・返却作業
 館内の飾りつけ…など



写真はエイブル開館10周年記念の時の1日こども図書館長さんの様子です。

100周年ロゴマークができました♪



図書館100周年の「100」の数字と
かし丸くんをモチーフにしたデザインです♪

おはなし会変更のお知らせ

「あんころもち」（毎週火曜日午後2時）と「きびだんご」（毎月第1・3水曜日午後2時半）を一つにまとめて、新「あんころもち」となります！

それにともない、時間や場所などが下記の通り変更となります。

☆4ページの「開館カレンダー」もご覧ください。

日時：毎週火曜日午後2時から
 対象：0歳から3歳
 場所：図書館 おはなしのへや

うたってあそぼうわらべうた報告 (2018.2.11 エイブル2階 和室)



2/11（日）は雪もちらつく中、佐賀コダーイセンターの十時やよいさん、吉富香織さんを講師としてお迎えし開催しました。

親子連れが集まりだすと、講師の方が参加者一人ずつにわらべうた遊びをしてくださいました。子どもだけでなくお母さんとも！はにかみながらも喜ばれている様子が伝わってきました。

0歳の赤ちゃんから3・4歳と幅広い子どもの参加がありました。講師の方のわらべうたに反応する時としない時の差がはっきりと見えて、その年齢で必要とされるわらべうたは異なるということがよくわかりました。他にやわらかい布など道具を使うやり方も紹介され、子どもはじっと目で追ったりにっこり笑ったりと楽しんでいました。

後半は子育てについてお話しされ、お母さん方や子育て支援に関わっている方々はうなずきながら熱心に聞き入っておられました。

図書館のおはなし会でも、もっとわらべうた遊びを取り入れようと思います。



『子ども図書館サポーター』になっていっしょに活動しよう！



図書館のイベントや仕事のお手伝いをしてくれる『子ども図書館サポーター』を募集します。先輩の5年生といっしょに活動しませんか？

応募期間：4月6日（金）
 ～4月22日（日）
 対象：鹿島市内の小学4年生
 応募人数：5人程度
 活動期間：5月～H31年3月
 ※全体で7～8回の活動



新しく届いた本

『ひとり暮らしレスキューBOOK』

成美堂出版
春から新生活という方におすすめの一冊。何かとやることの多いひとり暮らし。部屋探し、引っ越しの手続きから防犯やお金のことなど、71個のレスキューとして解説。ひとり暮らしの「困った！」を解決します。



『定年オヤジ改造計画』



垣谷 美雨：著
祥伝社
やっと迎えた定年生活。しかし、妻は「夫源病」になり、娘には「アンタ」呼ばわり。ある日、息子夫婦に孫2人の保育園のお迎えを頼まれて…。定年あるあるに思わずうなずき、大笑いしてしまいます。男女を問わず読んでもらいたい本。

『無農薬ではじめての家庭菜園』



学研プラス
せっかく家庭菜園を始めるなら、無農薬で野菜を育てたいという方にぴったりの本です。悩みを解決するための秘訣を、失敗の原因、人気野菜30種の育て方のコツ、畑づくりと3つの章に分けて伝授します。安全でおいしい野菜作りに挑戦しませんか？

『箱根駅伝ノート』



酒井 政人：著
ベストセラーズ
数々の名勝負を見せてくれる箱根駅伝。鹿島市で合宿している大学もあり、グッと身近になりました。日々の練習日誌や試合報告書などのノートを中心にした取材から、選手たちの言葉で表せないさまざまな想いがみえてきます。

『すぐ役立つ 司会進行・あいさつのコツ』



すぴーち工房：著
法研
披露宴や会社行事、地域行事、葬儀・法要などの司会進行のコツをアドバイスします。場の雰囲気合わせたコメントや思わぬトラブルへの対処法も掲載しているので安心です。